



学習指導要領の改訂に向けて — 今回の改訂の基本的考え方 —

中央教育審議会は、学習指導要領の改訂に向けて、平成20年1月に「幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の学習指導要領等の改善について」（答申）をとりまとめました。本答申を受け、「生きる力」をはぐくむという理念を実現するための具体的手立てを確立する観点から、2月に文部科学省から学習指導要領等の改訂案が公表されました。

本市では、2月1日に、文部科学省から森嶋昭伸視学官を講師として招き、学習指導要領改訂についての説明会を開催しました。答申の理念をはじめ、具体的な授業改善の方向性等について、約1時間にわたり詳しい説明がありました。

新学習指導要領は、平成21年度からの移行措置を経て、小学校では平成23年度から、中学校では平成24年度から完全実施の予定です。



改訂の基本的考え方

○ 教育基本法改正等で明確となった教育の理念をふまえ「生きる力」を育成

- ・ 「知識基盤社会」の時代においてますます重要となる「生きる力」という理念を継承。また、「生きる力」を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視。
- ・ 今回の改正により、教育の理念として、新たに規定された**公共の精神、伝統や文化の尊重**などをふまえ、伝統や文化に関する教育や道徳教育、体験活動等を充実。

○ 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視

- ・ 各教科において、基礎的・基本的な知識・技能の習得を重視したうえで、**観察・実験やレポートの作成、論述**など知識・技能を活用する学習活動を充実し、思考力・判断力・表現力等を育成。
- ・ あらゆる学習の基礎となる**言語の能力**について、国語科のみならず、各教科においてその育成を重視。
- ・ 上記のような学習を充実するため、国語、社会、算数・数学、理科、外国語等の**授業時数の増加**。
- ・ これらの取組や勤労観・職業観を育てるためのキャリア教育などを通じ、**学習意欲を向上**するとともに、**学習習慣を確立**。

○ 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成

- ・ **体験活動**を活用しながら、道徳教育や体力の向上についての指導、安全教育や食育などを発達の段階に応じ充実し、豊かな心や健やかな体を育成。

教育内容の主な改善事項

○言語活動の充実

- ・言語は、知的活動やコミュニケーション、感性・情緒の基盤となるものです。
- ・具体的には、国語科において読み書きなどの基本的な力を定着させた上で、各教科等において記録、説明、論述、討論といった学習活動を充実します。

○理数教育の充実

- ・科学技術の土台である理数教育の充実を図るため、国際的な通用性、内容の系統性、小・中学校での学習の円滑な接続を踏まえた指導内容を充実します。

○伝統や文化に関する教育の充実

- ・国際社会で活躍する日本人の育成を図るため、各教科等において、我が国や郷土の伝統や文化を受け止め、それを継承・発展させるための教育を充実します。
- ・具体的には、国語科での古典、社会科での歴史学習、音楽科での唱歌・和楽器、美術科での我が国の美術文化、保健体育科での武道の指導などを充実します。

○道徳教育の充実

- ・道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであることを明確化します。
- ・発達の段階に応じて指導内容を重点化し、体験活動を推進します。
- ・道徳教育推進教師（道徳教育の推進を主に担当する教師）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開することを明確化します。
- ・先人の生き方、自然、伝統と文化、スポーツなど、児童生徒が感動を覚える教材を活用するようにします。

○体験活動の充実

- ・子どもたちの社会性や豊かな人間性をはぐくむため、その発達の段階に応じ、集団宿泊活動や自然体験活動（小学校）、職場体験活動（中学校）を重点的に推進します。

○外国語教育の充実

- ・積極的にコミュニケーションを図る態度を育成し、言語・文化に対する理解を深めるために、小学校高学年に外国語活動を導入します。
- ・中学校においては、コミュニケーションの基盤となる語彙数を充実するとともに、聞く・話す・読む・書くを総合的に行う学習活動を充実します。

今後のスケジュール(予定)

文部科学省では、改訂案について3月16日までパブリックコメントを行うことを予定しています。その後の予定は以下のとおりです。

平成20年	3月末	官報告示
平成21年	4月1日	幼稚園教育要領 施行
	4月1日	小・中学校において移行措置（先行実施）開始
平成23年	4月1日	小学校学習指導要領施行（全面実施）
平成24年	4月1日	中学校学習指導要領施行（全面実施）

平成19年度 教育研究論文の受賞作品の概要をシリーズで掲載しています

今回は、優秀賞の2作品のうち、**浜寺東小学校 西村 正樹教諭**の研究論文の概要を掲載します。

自分の考えを伝え合い、認め合う力の育成

— 他者の考えを受け入れ、自分の考えと比較しながら自分の考えを伝える学習 —

子どもたちの人間関係が希薄化している中で、「伝え合う力」を抜きにして「生きる力」を育てていくことは非常に困難なことである。

私は、本校の教育目標である「21世紀を心豊かに輝く子」を達成するために、「伝え合う力を高める」ことを研究課題とし、他者の考えを受け入れ、自分の考えと比較しながら自分の考えを伝えることができる力を高められるように研究を進めてきた。

本教育論文では、研究仮説を立て、「伝え合う力」の育成のためのステップを検証した。

研究仮説「書く」	①座席表の活用	②ノート指導の徹底
「話す」	①具体物の提示	②授業での工夫